

# 2020年度 福岡市立学校教員採用候補者選考試験における選考について

## I 本市の求める教員像及びあるべき教員像

本市の教員採用候補者選考試験では、次の「教員像」を基本として選考を行った。

「本市の求める教員像」 新しいふくおかの教育計画

- 教育公務員としての自覚と高い倫理観, 教育者としての情熱と強い使命感を持つ人
- 広く豊かな教養と社会性を備え, 教育専門家としての確かな力量を持つ人
- 心身ともに健康で, 子どもへの愛情と豊かな人間性や感性を持つ人

「あるべき教員像」 第2次福岡市教育振興基本計画

- 向上心を持ち, 子どもの学ぶ意欲と学力を高める学習指導ができる教員
- 人権感覚にあふれ, 子ども理解に基づいたあたたかい生徒指導ができる教員
- 危機管理意識を持ち, 子どもの生命や身体の安全を確保できる教員
- 協調性を持ち, 同僚や保護者・地域等と協働しながら教育活動を推進できる教員
- 社会性を備え, 法令を遵守しながら体罰や飲酒運転等の不祥事を根絶できる教員

## II 選考基準

### 1 第1次試験の選考

#### (1) 各試験科目の配点

試験科目	教養試験		論文試験
	教職教養分野	一般教養分野	
配点	30点	20点	50点

#### (2) 第1次試験の合格者数

採用区分	合格者数
小学校教諭	採用予定者数の2倍程度
中学校教諭	採用予定者数の3倍程度
特別支援学校教諭(小学部・中学部)	採用予定者数の2倍程度
養護教諭	採用予定者数の8倍程度
栄養教諭	採用予定者数の3倍程度
日本語指導教諭(小学校)	採用予定者数の10倍程度
高等学校教諭	採用予定者数の4倍程度

※合格者数は一般選考と特別選考(第1次筆記試験の免除対象者を含む)を合わせた数

### (3) 選考方法

#### ①書類選考

- ア 教職大学院修了者特別選考における書類選考（第1次試験前に実施）  
志願者から提出された教職大学院における研究実績等に基づき，選考を行った。
- イ スポーツ・芸術特別選考における書類選考（第1次試験前に実施）  
志願者から提出された特定分野における実績（出場した大会のレベルや成績等）に基づき，選考を行った。

#### ②試験科目における「不可とする基準」の設定

教養試験及び論文試験において，不可とする基準を設定し，不可の試験科目が一つでもある場合は不合格とした。

【不可とする基準：下記の基準点未満又はランクの場合は不可とする】

試験科目	教養試験		論文試験
	教職教養分野	一般教養分野	
基準点 ランク	6. 6点	3. 5点	C・Dランク

#### ※基準ランク（論文試験）

ランク	説明
Aランク	優れている
Bランク	標準を上回る
Cランク	論旨，論文構成等がやや不十分である
Dランク	論旨，論文構成等が不十分である

#### ③特別選考

- ア 教職経験者特別選考（教養試験全部免除）及び教職大学院修了者特別選考  
受験者全員を第1次試験合格者とする。ただし，「教職大学院修了者特別選考」のみ，「論文試験」において「不可とする基準」に該当しない者を，第1次試験合格者とした。
- イ 障がい者特別選考  
「教職教養分野」及び「一般教養分野」のいずれも「不可とする基準」に該当しない者を，第1次試験合格者とした。

ウ 教職経験者特別選考（教養試験一部免除），社会人等特別選考及びスポーツ・芸術特別選考

第1次試験合格予定者数から，アとイの第1次試験合格者数を除いた数を，ウの第1次試験合格者枠とし，ウの対象者と「一般選考」の受験者を，共通の試験科目である「教職教養分野の得点」の高い者から並べ，ウの第1次試験合格者枠までの順位内にある者のうち，「不可とする基準」に該当しない者を，第1次試験合格者とした。

④一般選考

第1次試験合格予定者数から，③の第1次試験合格者数を除いた数を，「一般選考」の第1次試験合格者枠とし，「教職教養分野の得点」及び「一般教養分野の得点」の合計の高い者から並べ，「一般選考」の第1次試験合格者枠までの順位内にある者のうち，「不可とする基準」に該当しない者を，第1次試験合格者とした。

## 2 第2次試験の選考

### (1) 各試験科目の配点

採用区分	面接試験	模擬授業	実技試験
「小学校教諭」「特別支援学校教諭(小学部)」 「中学校教諭」：理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語 「特別支援学校教諭(中学部)」：理科，音楽，美術，保健体育， 技術，家庭，英語 「高等学校教諭」：地歴（世界史）	120点	60点	下表参照
「中学校教諭」：国語，社会，数学 「特別支援学校教諭(中学部)」：国語，社会，数学 「養護教諭」「栄養教諭」「日本語指導教諭(小学校)」	120点	60点	—

採用区分	実 技 試 験									
	小学校教諭・特別支援学校教諭(小学部)		中学校教諭・特別支援学校教諭(中学部)							高等学校教諭
	音楽	英会話	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語	地歴(世界史)
配点	8点	8点	48点	56点	32点	144点	56点	80点	16点	32点

### (2) 選考方法

① 試験科目における「不可とする基準」の設定

面接試験，模擬授業及び実技試験について，不可とする基準を設定し，不可の試験科目が一つでもある場合は不合格とした。

② 採用区分ごとに面接試験及び模擬授業の合計得点の高い者から順に並べ，得点状況等を勘案しながら，採用区分ごとに合格者を決定した。

【不可とする基準：下記のランクの場合は不可とする】

試験科目	面接試験	模擬授業	実技試験
基準ランク	Dランク	C・Dランク	Cランク

※基準ランク（面接試験）

ランク	説明
Aランク	優れている
Bランク	標準的である
Cランク	標準をやや下回る
Dランク	標準を下回る

※基準ランク（模擬授業）

ランク	説明
Aランク	優れている
Bランク	標準的である
Cランク	標準をやや下回る
Dランク	標準を下回る

※基準ランク（実技試験）

ランク	説明
Aランク	標準を上回る
Bランク	標準的である
Cランク	標準を下回る

### Ⅲ 各試験科目の問題等の閲覧及び評価

#### 1 第1次試験

##### (1) 教養試験の閲覧

問題，解答及び設問ごとの配点は，令和元年11月下旬以降，福岡市情報プラザで閲覧できる。

##### (2) 論文試験（特別選考）の閲覧及び評価

論文試験の問題は，令和元年11月下旬以降，福岡市情報プラザで閲覧できる。

試験科目	評価の観点
論文試験	○ 教員としての適性について，課題把握・分析力，課題対応力，文章構成・表記力・論理的思考力等の観点から評価する。

## 2 第2次試験

### (1) 面接試験の評定

試験科目	評定の観点
面接試験	○ 「本市の求める教員像」及び「あるべき教員像」の要素を基本とし、主として教育的愛情、向上心、社会性、コミュニケーション力等の観点から、教員としての資質、適格性、人物性を総合的に評定する。

### (2) 模擬授業の評定

模擬授業の問題（例）は、令和元年11月下旬以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

試験科目	評定の観点
模擬授業	○ 学習指導案作成、模擬授業及び口頭試問を通して、教科等に関する専門知識や授業構想力、学習指導力、生徒指導力等を総合的に評定する。

### (3) 実技試験の評定

実技試験の実施要領は、令和元年11月下旬以降、福岡市情報プラザで閲覧できる。

#### ① 小学校教諭・特別支援学校教諭(小学部)

試験科目	評定の観点
音楽実技	○ 課題曲をピアノ伴奏しながら歌唱することを通して、歌唱と伴奏のバランス、演奏の技能等の観点から評定する。
英会話実技	○ ネイティブスピーカーとの自然な対話の継続等の観点から評定する。

#### ② 中学校教諭・特別支援学校教諭(中学部)

試験科目	評定の観点
理科実技	○ 呼気に二酸化炭素が含まれていることを実験で証明し、二酸化炭素が溶解する際のBTB溶液の色の変化と、二酸化炭素が除去される際のBTB溶液の色の変化を演示する実験を通して、安全に留意した実験器具の使用法、実験技能等の観点から評定する。
音楽実技	① 課題曲：「花」（作詞／武島 羽衣，作曲／滝 廉太郎）をピアノ伴奏しながら歌唱することを通して、歌唱と伴奏のバランス、表現力、曲想のとらえ方等の観点から評定する。 ② 和楽器演奏：箏を平調子に調弦し、「荒城の月」に4小節の前奏を創作し、創作した前奏に続けて同曲の旋律を暗譜で演奏することを通して、箏の調弦及び演奏力の観点から評定する。

試験科目	評定の観点
美術実技	○ 木版画 ・与えられたモチーフを机上に構成し、木版画の制作を通して、構図、デザイン力、彫りや刷りの技能、安全面への配慮等の観点から評定する。
体育実技	○ 6種目の技能について、実技技能の観点から評定する。 ①【陸上競技】走り幅跳び ②【球技】 ・バレーボール （二人組でのオーバーハンドパス、アンダーハンドパス及び対人レシーブ） ・バスケットボール （センターライン周辺からのドリブルシュート） ③【器械運動】マット運動 男性：とび込み前転→開脚前転→（脚を閉じる） →側方倒立回転1/4ひねり→後転倒立 女性：倒立前転→開脚前転→（脚を閉じる） →側方倒立回転1/4ひねり→伸膝後転 ④【ダンス】現代的なリズムのダンス ・課題曲：「U.S.A.」 DA PUMP（初めから2分程度） ⑤【武道】柔道 ・前回り受け身 ・けさ固め（2人組で） ⑥【水泳】50m泳（平泳ぎ・ターン・クロール）
技術実技	○ 材料と加工に関する実技 ・ディスプレイ台の製作を通して、知識、技能（けがき、切断、部品加工、組立て、仕上げ）、安全面への配慮等の観点から評定する。
家庭実技	○ 生活を豊かにする布を用いた小物づくり ・箸入れの製作を通して、製作する物に適した縫い方や、用具の安全な取扱い等の知識、技能（ミシンの調整、まつり縫い、ものさしの使い方、スナップの付け方、仕上げ）等の観点から評定する。
英語実技	○ ①、②の技能について、英語の聞き取り・書き取り、文法の正確さ等の観点から評定する。 ①リスニング ②ディクテーション

### ③ 高等学校教諭

試験科目	評定の観点
地歴（世界史） 実技	○ 入試問題を解答後、その解説を行うことを通して、専門知識及び技能（教科指導力）の観点から評定する。